



# I. 「おむつ皮膚炎」総括

## 1. 「おむつ皮膚炎」を理解する (2)

# 「おむつ皮膚炎」とは？

## ～おむつ皮膚炎の定義と病態～

常深祐一郎

埼玉医科大学 皮膚科 教授

### Point

- ▶ 皮膚炎とは皮膚科学的には湿疹と同義で、表皮を反応の場とし、組織学的に表皮の海綿状態を特徴とし、臨床的に紅斑や小水疱、漿液性丘疹、丘疹、びらん、痂皮、鱗屑などの点状状態を呈し、これらが混在し空間的、時間的に変化するものである。感染症を含まない
- ▶ よく用いられる広義のおむつ皮膚炎という用語は、おむつと接する部位に紅斑や小丘疹、小水疱、小膿疱、鱗屑、浸軟、びらん、痂皮などの湿疹類似の皮膚症状を生じる状態を総称したもので、感染症も含む
- ▶ incontinence-associated dermatitis という概念があり、失禁関連皮膚炎と訳され、「尿または便（あるいはその両方）が皮膚に接触することにより生じる皮膚炎である。この場合の皮膚炎とは、皮膚の局所に炎症が存在することを示す広義の概念であり、その中に、いわゆる狭義の湿疹・皮膚炎群（おむつ皮膚炎（筆者注：狭義のおむつ皮膚炎））やアレルギー性接触皮膚炎、物理化学的皮膚障害、皮膚表在性真菌感染症を包括する。」と定義されている
- ▶ 広義のおむつ皮膚炎と incontinence-associated dermatitis は近い概念である

### はじめに

皮膚炎とは皮膚科学的には湿疹と同義で、表皮を反応の場とし、組織学的に表皮の海綿状態（表皮細胞間浮腫）を特徴とし、臨床的に紅斑や小水疱、漿液性丘疹、丘疹、びらん、痂皮、鱗屑などの点状状態を呈し、これらが混在し空間的、時間的に変化するものです（I-1-(1)-①「湿疹とは？」

p.7～11 参照）。本来は感染症を含みません。しかし、医療現場で使用されている広義のおむつ皮膚炎という用語は少し異なる使われ方をしていますので、意思疎通を円滑にするためには認識を統一する必要があります。

## ■ おむつ皮膚炎

狭義のおむつ皮膚炎は、おむつ部に生じた皮膚炎、つまり、湿疹を意味するものです。排泄物や洗浄剤など付着する物質による化学的刺激、言い換えれば、刺激性皮膚炎や、時にはアレルギー性接触皮膚炎に加え、高温多湿や擦れることによる物理的刺激によって湿疹を起こしたものです。これに対して、よく用いられるいわゆる広義のおむつ皮膚炎は、俗に「おむつかぶれ」とも呼ばれ、おむつと接する部位に紅斑や小丘疹、小水疱、小膿疱、鱗屑、浸軟、びらん、痂皮などの湿疹類似の皮膚症状を生じる状態を総称したもので、感染症の一部も

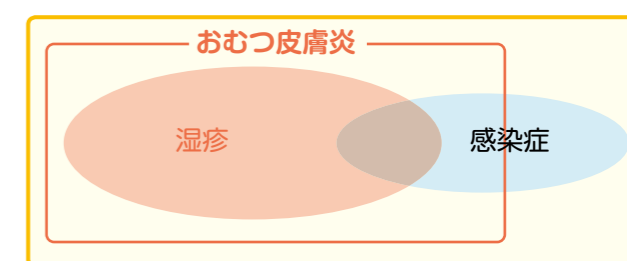


図1 おむつ皮膚炎の概念

含まれます<sup>1,2)</sup> (図1)。主たる感染症はカンジダ感染症です。これは皮膚科学的にいうところの皮膚炎よりも広い概念です。本特集では、この広義のおむつ皮膚炎を単におむつ皮膚炎と称しています。

## ■ Incontinence-associated dermatitis

海外よりもたらされた「incontinence-associated dermatitis (IAD)」という概念があり<sup>35)</sup>、「失禁関連皮膚炎」と訳されています。日本創傷・オストミー・失禁管理学会では、IADを「尿または便（あるいはその両方）が皮膚に接触することにより生じる皮膚炎である。この場合の皮膚炎とは、皮膚の局所に炎症が存在することを示す広義の概念であり、その中に、いわゆる狭義の湿疹・皮膚炎群（おむつ皮膚炎）やアレルギー性接触皮膚炎、物理

化学的皮膚障害、皮膚表在性真菌感染症を包括する。」と定義しています<sup>6)</sup>。IADは単なる接触皮膚炎ではなく、皮膚の浸軟によるバリア機能の破綻に伴い、排泄物に含まれる消化酵素や細菌が真皮組織の内部に流入することによって生じる組織傷害です<sup>6)</sup>。会陰部、肛門周囲、臀裂、臀部、鼠径部、下腹部、恥骨部に好発します。おむつによる密閉に失禁による排泄物の水分が加わり皮膚が浸軟（ふやけること）すること、尿によって本来弱